

# 氷見市阿尾公民館

## ◆事業の目的

子どもたちが地元資源を活用した体験をし、地区の人たちとふれあうことで故郷を知り愛する心を育むと共に実体験が子供たちの将来の財産になることを期待するもの。

## ◆事業の流れ

実施日	活動名	場所	参加人数
5月24日(日) 9月26日(日)	田植え体験 稲刈り体験	北八代の圃場	20名
6月5日(日) 11月7日(日)	りんご摘果体験 りんご狩り	指崎のりんご園	18名
11月4日(日)	子ども茶会	阿尾公民館	20名

## ◆事業の様子

☆ **米作り体験**・・・地元のおばちゃんやおじさんから、田植えではコロガシがけ、手植えを、また稲刈りでは手刈り、把ね、はさがけを教えてもらった。昔の手作業の苦労を知った後、稲刈りコンバインの操作も体験させてもらった。



☆ **りんご栽培体験**・・・公民館でりんごオーナーとなり年間を通じたりんご栽培を体験学習した。花のあと、大きなりんごに育てるため、たくさん着いた梅の実大の実を取り去り一枝に1～2個残す摘果作業を体験。収穫日はあいにくの小雨だったが赤く大きく実ったりんご「ふじ」に感動しながらひとつ残らず収穫した。



☆ **子ども茶会**・・・放課後児童クラブの「茶道教室」の子どもたちの発表の場として、公民館祭りと連携して開催。展示作品の鑑賞と、一角に設けられた子どもたちによるお点前、お運びによる茶席は大人気で100名を超えるお客さんでにぎわった。公民館を活用するのは高齢者に偏りがちだが、子どもたちも参加したよい事業になった。



## ◆事業の成果と課題

子どもたちにとって教室を離れてのいい体験の場を提供出来たと思う。今回の事業で特に強く感じたことは公民館活動に子どもたちを参画させるには学校との連携と保護者の理解が重要であること。子どもが参加する単発イベント的な事業でなく、子どもたちのふるさと学習の視点からの事業について、子どもたちの総合学習活動や保護者の各学年委員会活動と公民館事業との連携について協議する機会があればと感じる。